

令和7年度

**上勝小学校  
「学力向上実行プラン」**

**学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標**

- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

校長

学力向上推進員

**【小中連携における共通の取組】**

学力向上コラボレーション事業を活用した、個別最適な学びと協働的な学びの充実

**【各校の取組状況の把握について】**

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

**(1)知識・技能の習得**

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学年に応じた基礎学力が身についている児童が多い。 ●基礎学力の定着に個人差がある。読み違いや読み飛ばし等、正確に読む力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律を大切にし、基礎的・基本的な学力を身につけ、その知識や技能を他の学習や生活の場面において、活用することができる。</li> <li>・情報を正確によみ、問い合わせの意図を正しく理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンダーラインやメモ、ノートのとり方を意識するなど、児童が「できる」と感じる教材づくりを行う。</li> <li>・ブックリストや新聞、辞典等を活用し、語彙を増やす。</li> </ul>			

**(2)思考力・判断力・表現力等の育成**

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを、すぐに表現できる児童が多い。 ●身につけた知識や技能を思考に生かすことに個人差がある。友達の考え方について、自分の考え方と比較したり、まとめたりする力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動を通して、身についた知識を思考や判断、課題解決に生かすことができる。</li> <li>・友達の考え方を共感的、批判的な視点で捉え、自分の考え方を明確にし、意見をまとめたり表現したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話型の授業を行い、児童同士の課題解決の場を設定する。</li> <li>・思考の手助けになる掲示物等をつくるなど、視覚支援(ICTやホワイトボード等の活用)を行う。</li> </ul>			

**(3)主体的に学習に取り組む態度の育成**

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題や授業に真面目に取り組むことができる。特に、生活経験に基づいた学習に意欲的に取り組んでいる。 ●集中力を継続したり、不得意な学習内容に対して、自分で課題を見つけたり、解決したりすることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。</li> <li>・自分の学習の状況を振り返り、自らの課題を解決したり、設定したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発言から本時のめあてを作成するなど、児童が達成感を感じる教材や授業作りを行う。</li> <li>・自分の現状を認識し、判断したことに基づき振り返りを充実させ、課題意識をもたせる。</li> </ul>			